3 期日 2015 年~2019 年 一般質問要旨

平成 19 年 12 月

温室効果ガス総排出 量の削減目標につい て、さらなる推進を 提言。平成22年3月、 「鎌ケ谷市地球温暖化 対策実行計画」が策定 された。



平成 20 年 6 月

公共施設における維持管理の状況等、ストックマ ネジメント計画の必要性の提言。全国の課題とし て叫ばれるようになる。

平成 21 年 3 月

小学校、中学校の連携交流の必要性と教員の資 質向上等、教育環境の充実を提言。

2 期目 2011 年~2015 年 一般質問要旨

平成 23 年 9 月

救急搬送人員の約49%が高齢者であることを 指摘し、救急活動を迅速に行うための救急医療 情報キット導入を要望。令和2年、避難行動要 支援者に救急医療情報キットの配布を始める。

就学援助について、鎌ケ谷市の認定基準が近隣 市よりも厳しい現状を指摘し、平成 25 年度か ら、生活保護基準の 1.3 倍未満から 1.5 倍未 満までに認定基準が変更される。

公共施設での通信環境の 整備について、公衆無線 LAN 導入を提案。平成 31年、各公共施設にて



平成22年9月

維持管理において、長期的 負担の平準化のため、下水 道長寿命化制度の活用を 提言。令和2年に「鎌ケ谷市 下水道ストックマネジメント 計画」が策定された。



平成22年3月



荒廃した空き家の課題を指 摘し、行政が空き家対策を 行う等、全国の課題として 叫ばれるようになる。平成 25年、「鎌ケ谷市空き家等 の適正管理に関する条例」 等の対策が講じられた。

平成27年6月

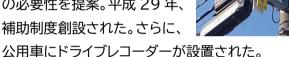
出産可能な医療機関は市内で1カ所、出生数の 15.3%が市内での出産であることを指摘した。 その後、産婦人科が開業する。

平成28年3月

不登校児童生徒が相談、指導、治療を受けるスク ールカウンセラーの拡充を提言。その後、拡充さ れる。

平成 28 年 12 月

防犯力メラ設置補助や公用車 等のドライブレコーダー設置 の必要性を提案。平成29年、 補助制度創設された。さらに、



平成29年3月

プロ野球球団や相撲部屋といったプロスポーツと の連携をさらに強化するよう提言。また、「するス ポーツ」への支援を要望。

平成29年9月

防災危機管理全般に対する助言や全庁的な調整を 担う専門職として、自衛官出身の危機管理監起用 を提言

平成30年3月

障がい者のために使用する自動車の燃料費の一部 を助成する制度を提案。

平成30年6月

認知症者の徘徊で踏切事故などを起こした場合に 備える賠償保険制度を提案。

~市民の声を行政に~

平成 25 年 3 月



平成 26 年 6 月

子育てしやすい環境づくり

を推進するため、多子世帯

における保育料・学校給食

費の減免制度創設を提案。

令和3年、多子世帯におけ

る第 3 子以降の学校給食費費が減免され、その

後、県の補助により免除されるようになった。

農産物の知名度アップやブ ランド化へ向けた取り組みを 提言。また、市街化調整区域 での耕作放棄地増加を指摘 し、市街化調整区域での市民 農園設置を要望。

令和元年 6 月

ヤングケアラーの実態調査 を提案。その後、政府が実 態調査を行う等、全国の課 題として叫ばれるようになる。



令和元年 12 月



ボランティアや介護予防 に取組む活動に応じた 健康マイレージ事業の創 設を提言。

画の必要性を提言。令和 5 年 3 月会議にて、「鎌 ケ谷市犯罪被害者等支援条例」を策定する予定。

4期目 2019 年~2023 年 一般質問要旨

令和3年6月

進入道路の変更が余儀なくされている北初富駅前 広場において、北側の用地活用を提案。その後、北 側の用地から進入する設計が発表された。

令和4年3月

救急搬送困難事案が増加していることを指摘し、 搬送先決定までの時間短縮が可能な情報共有シス テムの導入を提案。令和4年9月、千葉県が新規 事業として導入することを発表。

令和4年6月

本市の域内経済循環率が他市よりも低い現状を 指摘し、消費喚起策を含め、さらなる地域経済循 環の取組を提言。その後、キャッシュレス決済ポイ ント還元事業が計画され、令和5年2月に実施さ れた。

平成 24 年 9 月

設置される。





令和2年12月

犯罪被害者支援を確立するため、給付金制度や計